

**1日目 2月11日(土) 10:00～17:15 会場:2601 大講義室**

10:05～11:30

**講演「これからの地域精神保健福祉体制に向けて～施策の動向と行政の役割～」**  
**講師 鶴田 真也 氏 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課課長補佐**

平成 28 年 1 月に始まった「あり方検討会」は 7 月に 2 つの分科会のとりまとめ、論点整理がされました。8 月には、「検証・検討チーム」が設置され、9 月に中間報告が公表されました。この 2 つの検討の行方、法制度改正に向けた動向、さらには平成 30 年度に待ち受ける保健医療、障害者福祉、高齢福祉等に関する基本的計画や、診療報酬の改定に向けた現在の状況について話していただく予定です。

11:40～12:20

**活動報告「精神医療保健福祉施策の動向に関する当会の取り組みについて」**  
**報告者 山本 賢 飯能市健康福祉部健康づくり支援課(埼玉県) <当会理事>**

当会では、平成 28 年度厚生労働科学研究など新たに 4 つの調査研究に参画するとともに、障害者支援施設で起きた事件に関するマスコミ報道について公式見解を表明しました。  
精神保健福祉行政での実践の積み上げを反映すべく取り組む当会の活動についての報告です。

13:30～17:15

**シンポジウム**  
**「非自発的入院者への退院支援と地域ケア～行政の支援はどうあるべきか～」**

**シンポジスト**  
**鶴田 真也 氏 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課課長補佐**  
**竹島 正 氏 川崎市精神保健福祉センター所長(神奈川県) <当会相談役>**  
**来住 由樹 氏 岡山県精神科医療センター院長**  
**金田一 正史 千葉県精神保健福祉センター <当会会長>**  
**座長**  
**塚本 哲司 埼玉県立精神保健福祉センター <当会理事>**

果たして行政の地域支援体制はどうあるべきなのでしょう。平成 28 年 7 月に障害者支援施設で起きた事件は、まだ、解明されたわけではありません。しかし、さも「措置入院後のフォロー体制に原因の一端がある」ような論調も目につきます。「自治体間の連携」「障害者への偏見差別」「警察の対応の検証」の問題など様々な検討が必要です。本シンポジウムで「退院支援と地域ケア」を取り上げるのは、事件の解明や措置制度の見直しではなく、行政として本質的な支援体制をどう考えるか？措置制度など非自発的入院の際の権利擁護、地域生活支援、支援体制の整備(精神障害に対応した地域包括ケアシステム)の必要性などをそれぞれ立場から発言をいただき、行政の支援体制を見つめなおす機会とします。

**懇親会「みんな来られ～！もんげー話をしよーや！」**  
日時：2月11日(土) 18時から  
会費：6,000円  
会場：やま幸 〒701-0112 倉敷市下庄 140-1  
TEL086-462-1126(研修会場から送迎バスが出ます)

- ※ 総会案内：2日目の午後3時半から午後4時まで総会を行います。(会場：4601 大講義室)
- ※ 会場内は土足厳禁です。当日はスリッパ等上履きを持参ください。
- ※ 会場内で書籍販売予定です。

**2日目 2月12日(日) 9:15～11:30 12:30～15:30**

**(参加方法) 分科会は1日通しの参加が基本です。但し、分科会1(午前)と分科会3(午後)の組合せは可能です。**

<b>分科会 1 会場：4101 講義室 注) 午後のみの参加は受付できません。</b>	
近年、精神疾患・精神障害の支援内容が多岐にわたっており、一機関だけでは解決できない課題も多々あります。今後は多職種・他機関とつながりながら支援していく機会が増えていくことから、テーマに掲げた「つながる・つなぐ」を実践している特徴的な3地域からの報告です。午後は、都道府県、政令指定都市、中核市、市町村と自治体規模により抱えている課題がいろいろあることから、午前中の実践報告を踏まえて同じ規模の自治体の方々と、情報交換や人材交流の場所になるグループワークを進めます。普段感じている疑問点・悩み・課題などを共有し、次の日からの業務が楽しく、元気に取り組めるよう、楽しいグループワークを経験しましょう！！(本庁主管課で事業運営に悩む人も歓迎します)	
9:15～11:30	<b>実践報告：「多職種・他機関とのつながりから実践・支援につなぐ」</b> ① 「精神・身体合併症の医療体制整備～身体科と精神科の医療をつなぐ取り組み～」 大野 美子 愛知県健康福祉部障害福祉課こころの健康推進室 <当会理事> ② 「精神保健福祉と地域包括ケア～全ての住民を対象とする川崎版地域包括ケアの試み～」 明田 久美子 川崎市川崎区役所地域みまもり支援センター(神奈川県) <当会理事> ③ 「出雲圏域における精神保健福祉の取り組み」 青笹 美香氏 島根県出雲保健所心の健康支援課
12:30～15:30	<b>自治体規模別グループワーク「～全国の仲間とつながる～」</b> 進行：篠崎 安志 横浜市西区役所高齢・障害支援課(神奈川県) <当会理事>

<b>分科会 2 会場：4102 講義室 注) 1日通しての参加のみ受付します。</b>	
近年、“精神障害者のピアサポート活動”について、地域移行・地域支援の実践現場での活躍が目まぐるしく注目をされています。ピアサポーターと岡山の取り組みをとおして、ピアサポートの魅力や可能性について、参加者の皆さんと一緒に考えていきます。午後は、「ピアサポーターが活躍すると私の地域ではどんな効果があるのか」をイメージしながら、行政ができることについて対話を進めていきます！ピアサポート活動の実施の有無にかかわらず、リラックスした雰囲気で行われる「ワールドカフェ」方式のグループワークで心地良く学びを深めましょう。	
9:15～11:30	<b>「ピアサポートの魅力と可能性」</b> <b>第一部 ドキュメンタリー映画「ありがとう2～愛を伝える映画～」上映</b> 制作：調子はえ～んじゃフェスティバル実行委員会 <b>第二部 パネルディスカッション</b> パネラー：マインドこころ、クローバー 進行：堂前 直樹 倉敷市保健所(岡山県) <当会理事>
12:30～15:30	<b>ワールドカフェ「ピアサポーターが活躍するために、私達にできること」</b> 進行：波田野 隼也 青森市浪岡事務所健康福祉課(青森県) <当会理事> 堂前 直樹 倉敷市保健所(岡山県)

<b>分科会 3 会場：4601 講義室</b>	
9:15～11:30	<b>講演：「自殺対策の計画と実施～今までの流れとこれから～」</b> <b>講師：竹島 正 氏 川崎市精神保健福祉センター所長(神奈川県) &lt;当会相談役&gt;</b> 平成 18 年 10 月自殺対策基本法が施行され、平成 19 年 6 月に自殺総合対策大綱が内閣府より示されました。その後、大綱の見直しに続いて自殺対策基本法が改正され、都道府県及び市町村における計画策定が明記されました。今後、都道府県及び市町村はそれぞれの立場でどんな取組みをすべきなのか？計画はいつどのような内容を含んで策定し実施すべきか？過去の取組みを振り返りこれからすべきことを考えます。
12:30～15:30	<b>テーマ「アウトリーチと移送制度」</b> <b>講演：「行政機関が実施するアウトリーチ支援の意義と限界」</b> <b>講師：野口 正行 氏 岡山県精神保健福祉センター所長</b>  <b>シンポジウム：「治療につながりにくい対象者への支援を考える」</b> <b>シンポジスト 野口 正行 氏 岡山県精神保健福祉センター所長</b> <b>村田 清 氏 奈良県医療政策部保健予防課</b> <b>中川 浩二 氏 和歌山県精神保健福祉センター</b> <b>座長 堀内 美穂子 千葉県習志野保健所 &lt;当会理事&gt;</b> <b>熊取谷 晶 京都府精神保健福祉総合センター &lt;当会理事&gt;</b> 本講演では、ACTおかやまの実践活動をとおして、行政機関が実施するアウトリーチ活動について学びます。シンポジウムでは、奈良県が実施する34条移送制度や和歌山県のアウトリーチ活動の実践をとおして、「治療につながりにくい対象者」への支援のあり方についてシンポジストと議論していきます。